倉敷市立葦高小学校　学校だより

ささりんどう

令和8年
11月6日

第7号

“みんなが成長できて　笑顔あふれる”　ふれあいあしたか祭り！



体育館で的当てを楽しむ低学年の児童と的を持ってお世話をする高学年の児童

11月2日（月）　全校で「ふれあい葦高祭り」を開催しました。高学年の児童が、的当てやクイズ、迷路などのお店を出し、低学年の児童が、お客さんになって好きなお店を回って楽しみます。今年も4～6年生が工夫を凝らしたお店がずらりと並び、1～3年生が歓声をあげながら楽しそうに遊ぶ姿が校内のあちらこちらで見られました。高学年の児童は、お店を企画し、設営、運営、後片付けまで、友達と協力して取り組む中で、多くのことを考え、学びます。低学年の児童も、お店やお祭りのルールを守り、感謝の言葉を口にしながらたくさんのことを見て学びます。児童会で決めたスローガンにある通り、「みんなが成長できて、笑顔あふれる　ふれあいあしたか祭り」となったことを、とてもうれしく思いました。



低学年の児童にお店の説明をする高学年の児童

今年は豊作！　～5年生が稲刈り体験～



刈り取った稲を坪井さんに手渡す5年生の児童

先月22日（木）　5年生が、6月に田植えをさせていただいた坪井さんの田んぼで、稲刈りを体験させていただきました。片手で稲の下の方をしっかりと握り、鎌で刈り取るという作業は、今では貴重な経験です。今年は豊作とのことで、1週間後には、家庭科の調理実習に使うお米とは別に、坪井さんから精米したてのお米が5年生全員に届き、さっそく家庭で新米の味を味わった児童も多かったようです。自分たちで植えて、刈り取ったお米の味は格別だったのではないでしょうか。毎年大変なお世話をしてくださっている坪井さんに心より感謝申し上げます。